



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ヤマダコーポレーション
コード番号 6392 URL <http://www.yamadacorp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 昌太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 村瀬 博樹

TEL 03-3777-5101

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,743	△3.4	654	8.7	568	△15.2	368	△18.2
28年3月期第3四半期	6,980	△3.9	602	△39.3	670	△32.2	450	△31.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 358百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 474百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	30.76	—
28年3月期第3四半期	37.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	10,456	7,443	68.9
28年3月期	10,518	7,241	66.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 7,200百万円 28年3月期 6,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
29年3月期	—	6.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	△6.2	690	△17.7	580	△40.2	410	△34.6	34.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成29年2月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	12,000,000 株	28年3月期	12,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	26,907 株	28年3月期	25,072 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	11,973,422 株	28年3月期3Q	11,975,134 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済の動向としては、米国では、引き続き個人消費を中心に堅調が続いており、生産、投資の停滞がみられるものの、経済全体は緩やかな拡大傾向にありました。欧州では、個人消費、投資などを中心に、景気は緩い回復が持続しております。また、中国をはじめとする新興国の景気は、引き続き緩やかな減速傾向にあります。

一方、日本経済の動向は、消費や輸出の伸び悩み、円高や原油価格の動向などが懸念材料として、景気停滞傾向となっております。

こうした中、当社グループにおいては、国内市場のオートモティブ部門では販売が安定的に推移したものの、海外部門では、インダストリアル部門の主力製品であるダイアフラムポンプが伸び悩み、低調な推移となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は6,743百万円(前年同期比△236百万円、3.4%減)となりました。売上高を部門別にみますと、オートモティブ部門は1,863百万円(前年同期比6百万円、0.3%増)、インダストリアル部門は3,952百万円(前年同期比△179百万円、4.3%減)となり、上記部門に属さないサービス部品や修理売上などのその他の部門の売上高は927百万円(前年同期比△63百万円、6.4%減)となりました。

利益面では、売上総利益は2,731百万円(前年同期比17百万円、0.6%増)となり、営業利益は654百万円(前年同期比52百万円、8.7%増)、経常利益は568百万円(前年同期比△101百万円、15.2%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は368百万円(前年同期比△82百万円、18.2%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は次のとおりであります。

日本における外部顧客に対する売上高は3,784百万円(前年同期比△219百万円、5.5%減)、営業利益は213百万円(前年同期比45百万円、26.9%増)となりました。米国における外部顧客に対する売上高は2,014百万円(前年同期比△63百万円、3.0%減)、営業利益は224百万円(前年同期比△51百万円、18.7%減)となりました。オランダにおける外部顧客に対する売上高は681百万円(前年同期比7百万円、1.1%増)、営業利益は68百万円(前年同期比△24百万円、26.2%減)となりました。中国における外部顧客に対する売上高は251百万円(前年同期比26百万円、12.0%増)、営業利益は18百万円(前年同期比△5百万円、23.3%減)となりました。なお、第2四半期連結会計期間に新たに報告セグメントとしたタイにおける外部顧客に対する売上高は11百万円、営業損失は13百万円となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の連結売上高に占める海外売上高は3,380百万円(前年同期比△51百万円、1.5%減)で、その割合は50.1%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は10,456百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の増加(209百万円)、受取手形及び売掛金の減少(△224百万円)、有価証券の減少(△50百万円)等によるものであります。

負債合計は3,012百万円となり、前連結会計年度末に比べ264百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少(△95百万円)、長期借入金の減少(△93百万円)、未払法人税等の減少(△31百万円)等によるものであります。

純資産合計は7,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ202百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加(212百万円)等によるものであります。

この結果、自己資本比率は68.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は2,680百万円となり、前連結会計年度末に比べ158百万円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは640百万円の純収入(前年同期は204百万円の純収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益523百万円等の収入要因があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは156百万円の純支出(前年同期は243百万円の純支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による156百万円等の支出要因があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは269百万円の純支出(前年同期は274百万円の純支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による105百万円、配当金の支払による149百万円等の支出要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の業績予想につきましては、第3四半期業績を勘案し、予想数値を修正いたしました。本日(平成29年2月10日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,501,786	2,710,860
受取手形及び売掛金	1,685,406	1,460,684
有価証券	50,840	—
商品及び製品	1,362,364	1,504,748
仕掛品	304,657	369,534
原材料及び貯蔵品	525,628	486,144
繰延税金資産	132,505	111,126
その他	187,108	145,430
貸倒引当金	△8,320	△8,213
流動資産合計	6,741,976	6,780,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,568,866	1,505,440
土地	1,190,257	1,189,626
その他（純額）	593,623	506,270
有形固定資産合計	3,352,746	3,201,337
無形固定資産	49,705	55,865
投資その他の資産	374,438	419,009
固定資産合計	3,776,890	3,676,211
資産合計	10,518,867	10,456,528
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,370,549	1,275,220
短期借入金	120,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	192,484	179,972
未払法人税等	36,539	5,052
賞与引当金	123,050	31,445
未払費用	138,461	161,272
その他	106,493	109,667
流動負債合計	2,087,577	1,882,630
固定負債		
長期借入金	453,397	360,082
繰延税金負債	228,663	242,886
退職給付に係る負債	393,965	375,510
役員退職慰労引当金	—	41,099
資産除去債務	20,349	20,349
長期未払金	32,270	32,270
その他	61,079	57,840
固定負債合計	1,189,726	1,130,038
負債合計	3,277,303	3,012,668

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,000	600,000
資本剰余金	58,187	58,187
利益剰余金	6,157,108	6,369,791
自己株式	△5,435	△5,981
株主資本合計	6,809,860	7,021,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,781	108,703
為替換算調整勘定	83,124	70,204
その他の包括利益累計額合計	163,905	178,908
非支配株主持分	267,797	242,954
純資産合計	7,241,563	7,443,859
負債純資産合計	10,518,867	10,456,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	6,980,462	6,743,700
売上原価	4,266,035	4,011,926
売上総利益	2,714,427	2,731,773
販売費及び一般管理費	2,112,027	2,077,214
営業利益	602,399	654,559
営業外収益		
受取利息	1,246	781
受取配当金	10,614	11,050
負ののれん償却額	3,668	3,668
為替差益	42,535	—
不動産賃貸料	8,762	24,857
その他	25,801	9,435
営業外収益合計	92,628	49,793
営業外費用		
支払利息	10,591	3,407
売上割引	9,792	9,731
為替差損	—	118,824
その他	4,261	3,607
営業外費用合計	24,645	135,570
経常利益	670,382	568,781
特別利益		
固定資産売却益	727	499
特別利益合計	727	499
特別損失		
固定資産処分損	2,530	6,206
役員退職慰労引当金繰入額	—	39,899
特別損失合計	2,530	46,105
税金等調整前四半期純利益	668,579	523,176
法人税、住民税及び事業税	182,012	156,128
法人税等調整額	23,646	23,544
法人税等合計	205,659	179,673
四半期純利益	462,920	343,503
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	12,469	△24,842
親会社株主に帰属する四半期純利益	450,451	368,346

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	462,920	343,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,934	27,921
為替換算調整勘定	3,161	△12,919
その他の包括利益合計	11,095	15,002
四半期包括利益	474,016	358,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	461,547	383,348
非支配株主に係る四半期包括利益	12,469	△24,842

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	668,579	523,176
減価償却費	286,761	270,691
負ののれん償却額	△3,668	△3,668
受取利息及び受取配当金	△11,860	△11,831
支払利息	10,591	3,407
売上債権の増減額(△は増加)	206,651	228,872
たな卸資産の増減額(△は増加)	△238,375	△161,587
仕入債務の増減額(△は減少)	△81,117	△58,078
その他	△156,503	△21,407
小計	681,058	769,573
利息及び配当金の受取額	11,860	11,831
利息の支払額	△10,521	△3,283
法人税等の支払額	△477,759	△137,410
営業活動によるキャッシュ・フロー	204,638	640,711
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△11,005	△1,006
定期預金の払戻による収入	1,000	1,000
有形固定資産の取得による支出	△242,451	△156,894
有形固定資産の売却による収入	10,377	500
投資有価証券の取得による支出	△2,025	△2,317
その他	974	2,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△243,128	△156,702
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	305,000	259,000
短期借入金の返済による支出	△290,000	△259,000
長期借入金の返済による支出	△129,101	△105,827
配当金の支払額	△135,963	△149,044
その他	△24,809	△14,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274,874	△269,426
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,909	△56,354
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△311,455	158,228
現金及び現金同等物の期首残高	2,822,639	2,521,907
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,511,183	2,680,135

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	米国	オランダ	中国	
売上高					
外部顧客への売上高	4,004,180	2,077,836	673,926	224,518	6,980,462
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,404,768	51,012	5,287	—	1,461,068
計	5,408,948	2,128,849	679,214	224,518	8,441,530
セグメント利益	168,351	275,861	93,089	23,874	561,178

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	561,178
セグメント間取引消去	△346
棚卸資産の調整額	41,566
四半期連結損益計算書の営業利益	602,399

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	日本	米国	オランダ	中国	タイ	
売上高						
外部顧客への売上高	3,784,529	2,014,792	681,096	251,478	11,802	6,743,700
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,454,200	54,064	7,194	—	—	1,515,459
計	5,238,729	2,068,856	688,291	251,478	11,802	8,259,159
セグメント利益又は損失(△)	213,710	224,235	68,664	18,322	△13,640	511,293

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	511,293
セグメント間取引消去	109,969
棚卸資産の調整額	33,296
四半期連結損益計算書の営業利益	654,559

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間に YAMADA (THAILAND) CO., LTD. を設立し、連結子会社としたことから、新たな報告セグメントとして、「タイ」を追加しております。